

News Release

2010年02月22日

ディーリンクジャパン株式会社

**エンタープライズ向け製品の品質を追求した
小中規模ネットワーク及び拠点向け次世代スマートスイッチ
DES-1210 シリーズ発売のお知らせ**

ディーリンクジャパン株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:廖 晋新(マーティ・リャオ)、以下: D-Link)は、現行機種であるDES-1200シリーズの後継機種であり、次世代スマートスイッチとなるDES-1210シリーズの販売を2010年2月22日から開始いたします。DES-1210シリーズは小中規模ネットワーク及び拠点向けにデザインされ、様々な管理機能オプションにより運用の負荷を軽減、高いセキュリティ機能や自動Voice VLANに対応したコストパフォーマンスに優れたスマートスイッチです。

アップリンクポートが搭載されたDES-1210 シリーズは、1000BASE-T/SFP 2 コンボスロット搭載の10/100BASE-TX 28 もしくは 52 ポートの 2 製品がラインアップされ、標準価格は下記の通りとなります。

- ・DES-1210-28(標準価格:¥42,800)
 - 10/100BASE-TX x 28 ポート
 - 10/100/1000BASE-T x 4 ポート
 - 1000BASE-T/SFP x 2 スロット
- ・DES-1210-52(標準価格:¥74,800)
 - 10/100BASE-TX x 52 ポート
 - 10/100/1000BASE-T x 4 ポート
 - 1000BASE-T/SFP x 2 スロット



<DES-1210 シリーズ>

上から DES-1210-28、DES-1210-52

高機能かつ環境に優しいハードウェア設計がされているスマートスイッチ DES-1210シリーズはオフィスのオープンスペースに設置しても妨げとならないファンレスの静音設計と低省電力での稼働を実現しています。各ポートにLEDが1つ割り当てられていることで、各ポートのステータス情報を目視でもわかりやすく提供し、ネットワーク管理者の運用負担を軽減します。

DES-1210 シリーズには同じレイヤー2 ネットワークセグメントの中に存在する複数のスイッチを検出することができるプログラム SmartConsole Utilityが含まれています。ネットワーク管理者はPCのIPアドレスを変更する必要なく、SmartConsole Utilityから各スイッチの初期設定や、ファームウェアのアップグレードを複数台行なうことができ、煩わしい作業を軽減することができます。本シリーズにはプラグ・アンド・プレーを許可する設定ができ、簡単に設定を行なうことができます。

安全なセキュリティ機能を提供しているDES-1210 シリーズは、MACアドレスもしくはIPアドレスによってトラフィックを規制するACLフィルタリング機能を実装しています。本シリーズでは複雑なアクセスコントロールリストの設定をわかりやすくWEB GUIで行なうことができます。さらに、802.1X認証(ポートベース)を実装しており、不正なユーザからのネットワークアクセスを防ぐことができます。

エンタープライズ向け製品の品質を追求したDES-1210 シリーズでは多様な機能が実装されています。その機能の一つである自動Voice VLAN機能では、最適な音声品質を提供し、複雑な設定を省きVoIPの音声帯域を確保することができます。また音声データ、データ及びマルチキャストデータを分類し、ネットワークトラフィックでの優先順位を異なるレベルに振り分けるDSCPベースQoS機能、サーバとクライアント間のマルチキャストストリーミングのパフォーマンスを最適化するIGMPスヌーピングを提供しています。

またループポートのシャットダウンを有効にし、意図しないループ構成が全体のネットワークを圧迫することを防ぐループバック検知機能を実装し、高い信頼性を生み出してします。本シリーズでは基本的な接続性の問題を解決することができ、ネットワーク設定を簡易的にするケーブル診断機能も含まれています。

【D-Link 社について】

世界 68 ヶ国、166 拠点を有するグローバルネットワークベンダー・D-Link は 20 年の歴史を持ち、エントリーレベルからハイエンドまでのスイッチ、ワイヤレスLAN 製品群、メディアコンバーター、IP カメラ、ネットワークセキュリティ等、ネットワークの全分野を網羅する総合ネットワークソリューションを提供しています。D-Link はこれらの製品を”統合”させることを理念とし、現在はセキュリティと“グリーンIT”に注力しています。日本ではOEM事業を展開した後、2005 年 7 月に現日本法人を設立、自社ブランドメーカーとして、D-Link 製品の国内への浸透を図っています。